

ダクト用換気扇(24時間換気機能付タイプ) [居間・事務所・店舗用]

Table with 2 columns: Model Name and Specifications. Includes models like VD-18ZLX9-CS and VD-20ZLX9-CS.

取扱説明書・据付説明書

お客さま用/販売店・工事店さま用

この製品の運転にはコントロールスイッチが必要です。コントロールスイッチの位置を確認してください。
お客さま自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

本冊子は据付け後、必ずお客さまへお渡しください。

- 据付け、壁工事はお買上げの販売店・工事店さまが実施してください。
電気工事は電気工事の方が実施してください。
この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。

据付説明書は裏面をご覧ください

取扱説明書

1.安全のために必ず守ること

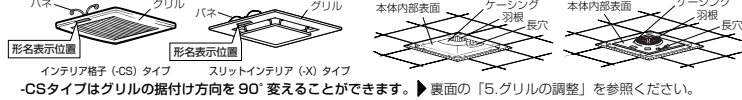
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

Warning and Caution sections with icons and text. Includes instructions on handling, electrical safety, and avoiding damage to the unit.

2.特長

- 24時間換気機能付ダクト用換気扇は換気風量(強・弱)の切り替えが可能であり、「弱」運転で24時間換気を行うことにより、給気口から新鮮な空気を取り入れ室内空気環境を改善します。
(24時間換気方式について)
建材や家具から発生するホルムアルデヒドなどの化学物質、居室の中に発生する汚染物質や臭気を排出するために、必要換気風量で24時間換気します。ただし、24時間換気有効に行うには居室に専用給気口の設置による空気の流通経路の確保が必要です。

3.各部のなまえ



- ご使用にあたってのお願い
●スプレー(殺虫剤・整髪用・掃除用など)をかけないでください。(グリル・羽根の破損、変質の原因となります)
●高温(40℃以上)になるところに据付けられないか確認してください。(製品の变形やモーター焼損の原因となります)
●換気扇設置場所が中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。

4.使用方法

- 運転は壁のコントロールスイッチで運転開始と停止を行います。
●コントロールスイッチで風量を「強」・「弱」に切り替えます。「弱」で24時間運転をすることをおすすめします。
●スイッチがオン、ランプが点灯したら運転が切りかわります。
●コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」・「弱」切り替えでランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがあります。

5.お手入れのしかた

グリルや羽根にほこりが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。約3か月に1度を目安としてグリルの清掃をしてください。

Handing instructions section with diagrams and numbered steps. Includes warnings about using handbags and cleaning methods for the grille and blades.

6.修理を依頼する前に

- コントロールスイッチを入れても羽根が回転しない。(ブレーカが切れていたり停電ではありませんか?)
●換気量が不足する。(室外フードにほこりが堆積していませんか?)
●運転中に異常音や振動がする。(グリルや本体が確実に据付けられていますか?)

7.アフターサービス

ご相談窓口・修理窓口のご案内(住宅用換気送風機)

お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。

Service center information for Mitsubishi Electric. Includes contact details for consultation and repair centers across various regions.

Repair center information for Mitsubishi Electric. Includes contact details for repair services and a website link (www.melco.jp).

補修用性能部品の保有期間
当社は、この換気扇の補修用性能部を、製造打ち切り後6年保有しています。

8.仕様

●特性はJIS C 9603に基づいています。
●騒音値は無音室での測定値です。実据付状態では反響音などを含むためこれよりも高くなります。

Table with specifications: Model Name, Noise, Power Consumption, Airflow, and Weight. Lists models like VD-18ZLX9-CS and their respective specs.

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

Long-term product safety information section. Includes a warning icon and details about the 15-year design life and safety standards.

愛情点検

Love check section with a heart icon. Encourages annual maintenance checks for long-term use.

Customer service form with fields for name, address, phone number, and date.

据付け説明書

1.据付けを正しく安全に行うために

据付けを始める前に「1.安全のために必ず守ること」(表面)、据付け手順をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

2.据付け前のお願

- 据付け**
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なる規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の窓公庁(特に消防署)にご相談ください。
 - 高温(40℃以上)になるように据付けしないでください。早期故障の原因となります。
 - 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
 - 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
 - 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。
 - 同梱されているダクト接続口を使用してください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 製品据付け時は、グリル側面と部屋の壁面を150mm以上すき間をあけてください。グリルの取りはずしやすくない原因となります。

天井・ダクト工事

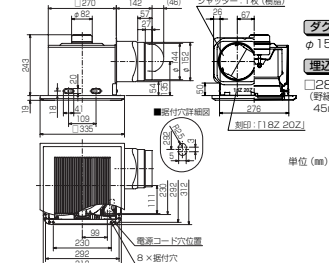
- 天井材は、振動・共振防止のため強度のあるものを使用してください。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋根上に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ、または雨水の浸入を防ぐための深形フード、外風が強いところでは耐風フードなどのシステム部材を据付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 強弱な曲げ
 - 多数の曲げ
 - 吐出のすきま
 - しぼり
- 天井金具を使用する場合は、製品の電装ができるように点検口を設けてください。点検口がない場合は製品取替え等で、天井などを壊す場合は、お客様の費用ご負担となります。

- お願い**
- 24時間換気機能を得るためには下記に留意してください。
 - ドロップアンダーカットなどにより空気の流通経路を確保してください。
 - 排気口が外風の影響を受けやすい(高層住宅など)には据付けしないでください。風量が低下し、換気量が不足するおそれがあります。

3.外形寸法図

【付属部品】ホネジ…9本

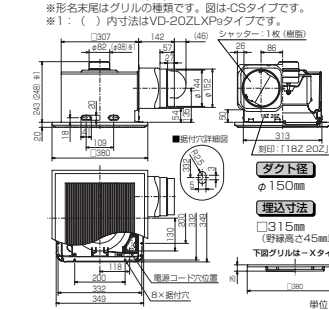
■VD-18ZLX₀-CS



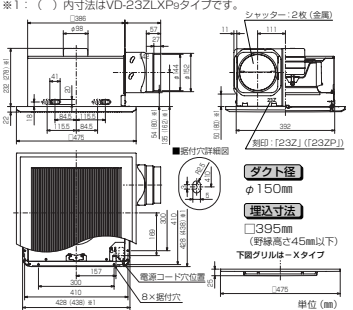
■グリル外形図



■VD-18ZLXP₀-CS (X)、VD-20ZLX₀-CS (X)



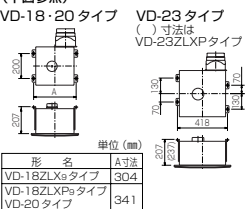
■VD-23ZLX₀-CS、VD-23ZLXP₀-CS (X)



4.据付け方法

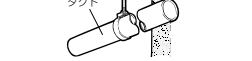
1 据付け前の準備

据付け位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト(MB)を4本埋め込む。(下図参照)



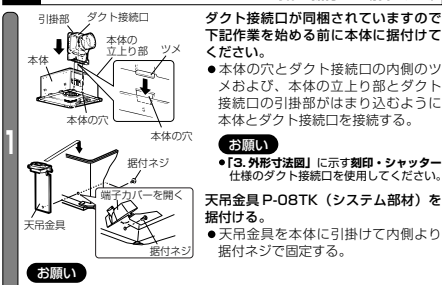
2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。
●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊る。



3 本体を吊る

(野縁を使用する場合は野縁に据付けられる場合を参照)

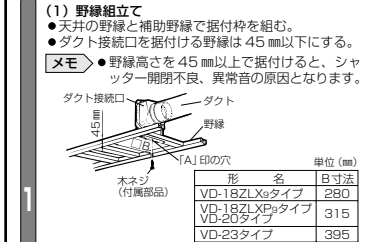


4 電気工事

へ つづく

野縁に据付ける場合

野縁の強度が十分でない場合は天井金具を兼用する



野縁	タクト径	野縁高さ
ダクト接続口	φ150mm	45mm以下
ダクト	φ150mm	45mm以下

野縁	タクト径	野縁高さ
ダクト接続口	φ150mm	45mm以下
ダクト	φ150mm	45mm以下

お願い

- 「3.外形寸法図」に示す刻印・シャッター仕様のダクト接続口を使用してください。

4 電気工事

へ つづく

ネジでダクトを接続する場合

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スバテラ付ダクトで1/2部が上記70mmの位置にある場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
 - ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。

ダクト呼び径	φ150の場合
ダクト外径(mm)	ネジ 呼び長さ
150(スリイライなど)	10
155~160	13
165(VP管など)	19

4 電気工事

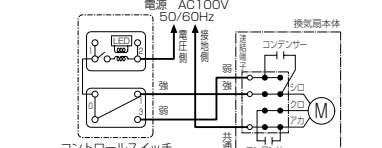
■電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

注意

- 結線間違いや異電圧印加などの誤接続を行いますとモーターが故障します。誤接続によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はお客さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。

結線図 (太線部分を結線する)

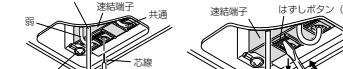
- VD-18ZLX₀-CS、VD-18ZLXP₀-CS (X)
- VD-20ZLX₀-CS、VD-20ZLXP₀-CS (X)
- VD-23ZLX₀-CS、VD-23ZLXP₀-CS (X)



■VD-18、20タイプの結線方法

1. 本体上部のゴムフッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
2. 端子カバーの取手部に指を掛け下へ引いて端子カバーを開け、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
3. 端子カバーを「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

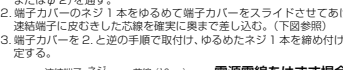
電源電線をはずす場合



■VD-23タイプの結線方法

1. 本体上部のゴムフッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
2. 端子カバーのネジ1本をゆるめるため端子カバーをスライドさせてあげ、連結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
3. 端子カバーを2と逆の手順で取り外し、ゆるめるネジ1本を締め付け固定する。

電源電線をはずす場合



電源 AC100V 50/60Hz

※P-04SWL、P-04SWLまたは定格4A・300Vのコントロールスイッチを使用してください。

※上記コントロールスイッチを使用せず24時間換気運転する場合は、スイッチを閉止し停止し必要ない工夫が必要となります。

電圧チェック表

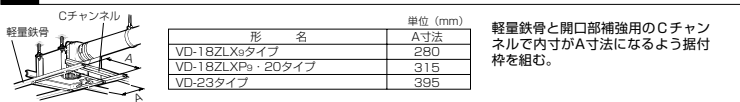
結線する前に線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。	線間電圧 (V)		
スイッチ	測定部	共通	共通一極
切	0	0	0
入	100	0	100
入	0	100	0

お願い

- 据付け・点検・修理時に電線の皮むき部に手を触れないでください。コンデンサーの帯電により感電のおそれがあります。
- 電源電線の外径は70mm以上皮むきしてください。
- 電源電線の芯線は、線径φ1.6mmまたはφ2.0mmの皮むき寸法図に合わせて、皮むきますと便利です。(10mmを超えてむくと漏電の原因となります)
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから連結端子に確実に差し込んでください。
- 電源電線は接続部にかがらないよう本体付近で約150mmたまたまで、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、線径φ1.6mmまたはφ2.0mmの皮むき寸法図をご確認ください。(圧着端子は日本圧着端子社YHT-2210をご使用ください)
- 電源電線を連結端子よりはずす場合は、マイナスドライバーで連結端子のはずしボタン(赤色)を押しながら電源電線を引いてははずしてください。

本体を野縁に据付けている場合は **7 天井材を張る** へ つづく

5 軽量鉄骨を組む



6 本体の固定

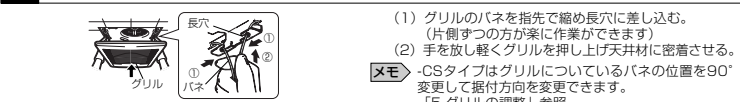
(メンテナンスができるよう固定)



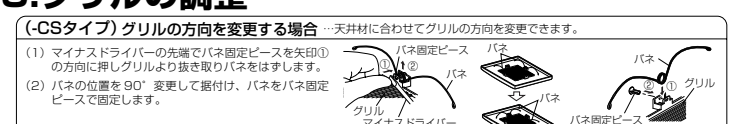
7 天井材を張る



8 グリルの据付け



5.グリルの調整



6.試運転

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない	分電盤のブレーカーが「切」になっている 正しく結線されていない	ブレーカーを入りにする 結線を確認する(スイッチ部/電源線接続部) ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する。
運転中に異常音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない 羽根・グリルに異物が付着している	据付け直す 異物を取り除く